

# 日本美術を解剖！ 模様のせかい

- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成27年7月1日(水)  
～8月23日(日)
- 休館日 7月13日(月)、14日(火)

## 日本美術を自在に楽しむ

美術品には、うっとりするような魅力があると同時に、近寄り難いような雰囲気や難解さが感じられることがあります。この難解さには、実は、美術品を守り伝えてきた多くの人の思いが反映されています。これらの人々の思いに近づくことで、日本美術はもっと楽しく見えてきます。

福井市立郷土歴史博物館では、日本美術を自在に楽しむための鍵を探訪していく「日本美術を解剖！」というシリーズで企画展示を開催していきます。シリーズ第1弾は、美術工芸品に施された“模様”に焦点を当て、そこに託された意味や歴史背景を探ります。

## 模様とは何か

「模様」とは一体、何でしょうか。ネクタイのストライプ柄や、壁紙の小花柄など、人によって思い浮かべる模様は様々です。しかし同じ図柄でも、屏風やキャンバスに“主演”として描かれると、それは、たちまち「模様」とは呼ばれなくなってしまいます。つまり「模様」は、主要な機能を持つモノに、付加的に施された装飾と言えるでしょう。だからこそ、制作者や持ち主の思い、時には社会の状況などが、より率直に表れていることがあるのです。

## 松竹梅は日本の模様？

「松竹梅」は、お正月や結婚式など、おめでたい時に用いられる模様として、いかにも日本的に感じられます。しかしその典拠は中国にあります。厳しい冬の寒さにも色あせない松と竹、そして、寒中に花開き香りを漂わせる梅は「歳寒の三友」と呼ばれ、中国の文人の目指す精神性を象徴するものとして称えられました。ですから、元々は松竹梅におめでたいという意味はありません。江戸時代以前、最先端の技術や学問は、主に中国大陸から日本へ入ってきました。日本人にとって、中国は憧れの国であり、中国由来のあらゆるモノには、おめでたいという吉祥の意味が付け加えられました。松竹梅の模様が吉祥の意味を持つようになった背景には、このような日本と中国の歴史があるのです。



鶴亀松竹梅図 中村西溪筆  
福井市春嶽公記念文庫 当館蔵



波鯉図刺繍袱紗 福井市春嶽公記念文庫 当館蔵

## 松平家らしい鯉の模様

松平家伝来の美術工芸品に多用されている模様に、“鯉”があります。これも、中国の故事に由来した模様です。中国の黄河の上流にある竜門という峡谷は流れが激しく、大きな魚(鯉)でも登りきることが難しい。しかし登りきった暁には、たちまち竜へと姿を変えろという故事で、「立身出世」を意味しています。鯉の模様が、藩主や男子だけではなく、女性の持ち物にも用いられているところが、武家ならではと言えるでしょう。

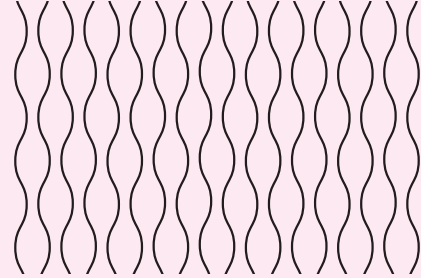
# 幾何学模様ミニ図鑑

幾何学模様は、日本美術だけでなく、世界共通で見られるものも多く、国同士の文化の影響関係を示すこともあります。また美術品だけでなく、現代社会でも、浴衣の柄や食器の染付など、日常のいたるところで見られます。幾何学模様の名前をマスターしましょう！

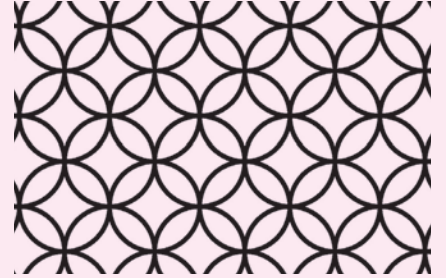
1. 青海波  
せいがいば



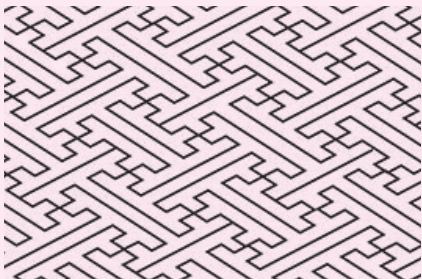
2. 立涌  
たてわく



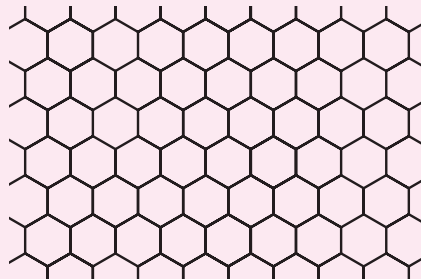
3. 七宝  
しっぽう



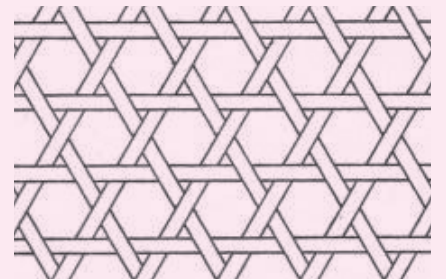
4. 紗綾形  
さやがた



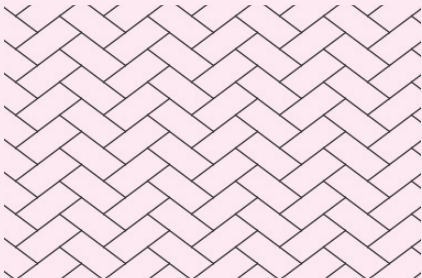
5. 亀甲  
きっこう



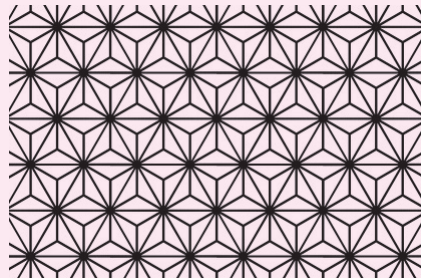
6. 籠目  
かごめ



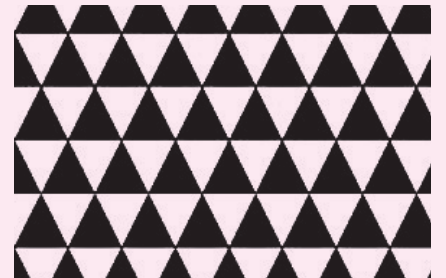
7. 檜垣 (網代)  
ひがき あじろ



8. 麻の葉  
あさは



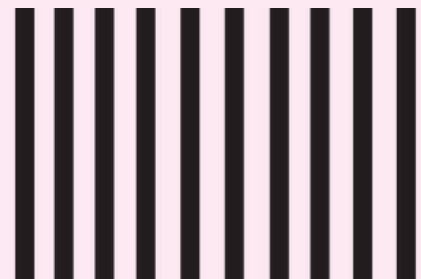
9. 鱗形  
うろこがた



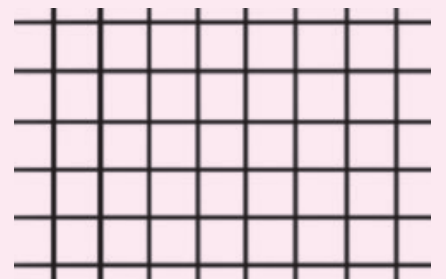
10. 石畳 (霰・市松)  
いしだたみ あられ いちまつ



11. 縞  
しま



12. 格子  
こうし



## 次回の展示

企画展 資料が語る幕末という時代

8月26日(水)～10月13日(火)

松平家史料展示室 展示解説シート No.89  
平成27年7月1日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1  
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489  
担当 佐々木佳美

印刷 宮本印刷